

令和元年度 第35回 関東シニアバドミントン選手権大会要項

- 1 主 催 関東バドミントン連盟
- 2 主 管 山梨県バドミントン協会
- 3 後 援 山梨県 山梨県教育委員会 公益財団法人山梨県体育協会 甲府市
甲府市教育委員会 山梨日日新聞社 テレビ山梨
- 4 協 賛 ヨネックス(株) (株)ゴーセン ミズノ(株)
- 5 期 日 2019年 7月 20日(土)~21日(日)
開会式 7月 20日(土) 9:00~ 小瀬スポーツ公園体育館
競 技 7月 20日(土) 9:30~ 小瀬スポーツ公園体育館他
7月 21日(日) 9:00~ //
※閉会式は行わず、終了した種目から順次表彰式を行う。
- 6 会 場 第1会場：小瀬スポーツ公園 体育館(16面)
〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町 840 TEL 055-243-3111
第2会場：緑が丘スポーツ公園 体育館(16面)
〒400-0008 山梨県甲府市緑が丘 2丁目 8-2 TEL 055-253-1906
- 7 種 目
 - ・ 30歳以上 男女シングルス
 - ・ 35歳以上 男女シングルス
 - ・ 40歳以上 男女シングルス
 - ・ 45歳以上 男女シングルス
 - ・ 50歳以上 男女シングルス
 - ・ 55歳以上 男女シングルス
 - ・ 60歳以上 男女シングルス
 - ・ 65歳以上 男女シングルス
 - ・ 70歳以上 男女シングルス
 - ・ 75歳以上 男女シングルス
 - ・ 80歳以上 男女シングルス
 - ・ 30歳以上 男女ダブルス
 - ・ 35歳以上 男女ダブルス
 - ・ 40歳以上 男女ダブルス
 - ・ 45歳以上 男女ダブルス
 - ・ 50歳以上 男女ダブルス
 - ・ 55歳以上 男女ダブルス
 - ・ 60歳以上 男女ダブルス
 - ・ 65歳以上 男女ダブルス
 - ・ 70歳以上 男女ダブルス
 - ・ 75歳以上 男女ダブルス
 - ・ 80歳以上 男女ダブルス

※上記年齢は、2019年4月1日現在のものとする。
- 8 競技規則 2019年度(公財)日本バドミントン協会競技規則及び同大会運営規程、並びに同公認審判員規程による。
- 9 競技方法 各種目ともトーナメント戦とし、3位決定戦は行わない。
- 10 使用用器具 2019年度(公財)日本バドミントン協会検定・審査用器具及び第1種検定合格水鳥球を使用する。
- 11 参加資格 2019年度(公財)日本バドミントン協会に登録を完了した者で都県協会の推薦者とする。

選手は、事前に健康診断を受診すること。

- 12 組合せ 組合せは、関東連盟選出競技役員長（レフェリー）もしくは競技審判部長（デピュティレフェリー）立ち会いの下、主管団体役員及び各都県代表者との間で厳正に執り行う。
組合せ会議：2019年 6月 22日(土) 山梨県

- 13 参加料 各種目とも1人1種目5,000円とする(ダブルスは1組10,000円)。
参加料は、都県協会で一括して申込締切日までに次の銀行口座に振り込むこと。

【銀行名等】 山梨中央銀行 南支店 普通預金 674991

【口座名義】 山梨県バドミントン協会 会長 白倉一民(シラカズタミ)

- 14 申込締切 2019年 6月 3日(月) 必着のこと。

- 15 申込方法 所定の申込書に必要事項を入力し、都県協会長の印を捺印の上、都県協会で一括して次に申し込むこと(郵送および持参以外は受け付けない)。

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2丁目1-8 田村ビル3階

ビーウェイ甲府店内 山梨県バドミントン協会

TEL 055-288-8283 FAX 055-288-8284

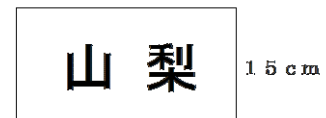
※参加申込ファイルは、次のアドレスにメール送信をお願いします。

大会事務局 yamanashibado@blue.ocn.ne.jp (担当：酒井)

- 16 表彰 各種目とも第3位まで表彰する。

- 17 服装 (公財)日本バドミントン協会の審査合格品とし、背面に漢字で都県名を必ず明示すること(縦15cm×横30cm程度)。なお、大きさについては(公財)日本バドミントン協会運営規程第24条に準ずるものとする。

【例】 30cm



- 18 個人情報の取り扱いについて

本大会の申込みに関する個人情報については、大会の運営のみに使用する。また、大会結果及び入賞者の写真を報道機関に通知し、ホームページ等に掲載することがある。

- 19 その他 (1) 開会式には、各都県5名以上参加すること。
(2) 参加選手名については、山梨県バドミントン協会ホームページに一定期間掲載するので、6/7(金)～6/17(月)までに確認すること。
(3) スポーツ傷害保険には加入しております。負傷者の応急処置は行いますが、その後は自己責任とします。
(4) 主審は山梨県バドミントン協会で行い、線審は敗者審判制で行います。